

<地域未来塾について>

学習支援が必要な中学生・高校生等を対象とした学習支援
～地域住民の協力を得た地域未来塾の充実～

(前年度予算額: 322百万円)
30年度予算額: 387百万円
※地域学校協働活動推進事業 6, 012百万円の一部で実施

地域未来塾について

中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施

- ◆ 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生・高校生等への地域と学校の連携・協働による学習支援を実施
- ◆ 教員を志望する大学生などの地域住民、学習塾などの民間教育事業者、NPO等の協力やICT機器、学習ソフトウェア等の活用により、多様で効果的な支援が可能

* 学習支援が必要な中学生・高校生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着
* 高等学校・大学等進学率の改善、高校中退の防止、学力・自己肯定感の向上

学習機会の提供によって、貧困の負の連鎖を断ち切る

全生徒を対象とした学習支援の事例【取組例】

<放課後学習支援>

- ・対象は中1～3の希望者
- ・年間約80回（学期中の週2回(2時間程度)）
- * 学校の空き教室を利用、無料
- ・指導員による個別指導と自習
- * 指導員：退職教員や教員志望の大学生など

※ 部活動休養日（ノ一部活動デー）の受け皿として実施することも可能。

平成31年度末までの目標数

| | | | | |
|--|---|--|---|---|
| <p style="color: blue; font-weight: bold;">H29年度</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">3, 630 中学校区</p> <p style="font-size: x-small;">高校生支援 の促進</p> | ➡ | <p style="color: blue; font-weight: bold;">H30年度</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">4, 315 中学校区</p> <p style="font-size: x-small;">高校生支援 の促進</p> | ➡ | <p style="color: blue; font-weight: bold;">H31年度</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">5, 000 中学校区</p> <p style="font-size: x-small;">(公立中学校の約半数) 高校生支援 全国展開</p> |
|--|---|--|---|---|

ニッポン一億活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定)(抜粋)
経済的な理由や家庭の事情により学習が遅れがちな子供を支援するため、大学生や元教員等の地域住民の協力及びICTの活用等による原則無料の学習支援を行う地域未来塾を、平成31年度(2019年度)までに全中学校区の約半分に当たる5000ヶ所に拡充し、高校生への支援も実施する。

働き方改革実行計画(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定)(抜粋)
子供たちが家庭の経済状況にかかわらず、それぞれの夢にチャレンジできる社会を実現するため、地域と学校の連携協働の体制整備を推進する法改正を行うとともに、原則無料で学習支援を行う地域未来塾の拡充、放課後や土曜日等の学習支援の拡充を図る。2019年度 5,000中学校区で地域未来塾を実施し、高校生への支援を全国展開

<地域未来塾を実施するために、検討すべきこと>

- 1 実施規模
学校区や対象生徒などを考えます。
- 2 実施場所
学校の空き教室や公民館などの公共施設が考えられます。
- 3 募集人数
実施場所によって生徒の募集人数が決まってきます。生徒への案内は、学校に協力してもらうのもひとつの方法です。
- 4 実施回数
年間どの時期に何回実施するか、実施時間帯などを考えます。
- 5 実施教科
すべての教科を対象にするか。特定の教科に限定するか考えます。
- 6 実施形式
授業形式やグループ学習、個別学習などの支援があります。
- 7 学習支援員
学習支援員は、実際に生徒の学習を教える人になります。地域住民やPTA関係者、大学生などが考えられます。
- 8 コーディネーターについて
地域未来塾は、市町村の行政担当者が準備することで実施可能ですが、具体的な準備等の対応をするために、「地域学校協働活動推進員」や「地域コーディネーター」を配置することも有効です。

平成29年度 地域未来塾 実施市町 一覧表

| No. | 市町村名 | 地域未来塾名 | 対象学校区名 | 実施場所の種類 | 実施形式 | 活動内容 |
|-----|-------|-------------------|---|---------|--------|------------------------------------|
| 1 | 瀬戸市 | 光陵中学校区地域未来塾 | 光陵中 | 中学校 | 個別指導 | 元教員・現役大学生による英語・数学教室 |
| 2 | 豊明市 | とよあけどう塾 | 豊明中、栄中、沓掛中 | その他 | 授業形式 | 教員OB、学生ボランティア等による英語・数学教室 |
| 3 | 小牧市 | 小牧市駒来塾 | 北里中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 元教員・現役大学生等による学力の定着が進んでいない子への自主学習支援 |
| | | 小牧市駒来塾 | 篠岡中、光ヶ丘中、桃陵中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 元教員・現役大学生等による学力の定着が進んでいない子への自主学習支援 |
| 4 | 北名古屋市 | アフタースクール教室 | 師勝中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師による授業の復習、テスト勉強 |
| | | アフタースクール教室 | 西春中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師による数学教室 |
| | | アフタースクール教室 | 白木中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師及び学生による基礎学習 |
| | | アフタースクール教室 | 訓原中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師及び学生による5教科の自習 |
| | | アフタースクール教室 | 熊野中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師による英数国の学習 |
| | | アフタースクール教室 | 天神中 | 中学校 | 個別指導 | 非常勤講師による毎日の宿題、テスト勉強 |
| 5 | 犬山市 | 犬山学び場「みらい」 | 犬山中 | その他 | 個別指導 | 元教員・現役大学生・地域住民による個別指導 |
| | | 犬山学び場「みらい」 | 城東中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 元教員・現役大学生・地域住民による個別指導 |
| | | 犬山学び場「みらい」 | 南部中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 元教員・現役大学生・地域住民による個別指導 |
| | | 犬山学び場「みらい」 | 東部中 | その他 | 個別指導 | 元教員・現役大学生・地域住民による個別指導 |
| 6 | 江南市 | 江南市こども未来塾 | 古知野中、布袋中、宮田中、北部中、西部中 | その他 | 個別指導 | 地域住民による算数・数学教室 |
| 7 | 大口町 | サポートルーム「さくら」 | 大口中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 教員OB・現役大学生による個別指導 |
| 8 | 津島市 | ドテラ・月テラ | 神守中 | 中学校 | 個別指導 | 大学生・退職教員による学習支援 |
| | | ござてん | 天王中 | 中学校 | 個別指導 | 大学生・退職教員による学習支援 |
| 9 | 大治町 | スタディーサポートクラブ(SSC) | 大治中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 地域住民による国語・英語・数学教室 |
| 10 | 常滑市 | 常滑市地域未来塾 | 青海中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 大学生・地域住民・元教員等による学習教室 |
| | | 常滑市地域未来塾 | 南陵中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 大学生・地域住民・元教員等による学習教室 |
| | | 常滑市地域未来塾 | 鬼崎中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 大学生・地域住民・元教員等による学習教室 |
| | | 常滑市地域未来塾 | 常滑中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 大学生・地域住民・元教員等による学習教室 |
| 11 | 大府市 | まなポート | 大府中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 地域住民や学生による学習支援 |
| | | まなポート | 大府西中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 地域住民や学生による学習支援 |
| | | まなポート | 大府北中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 地域住民や学生による学習支援 |
| | | まなポート | 大府南中 | 社会教育施設 | 個別指導 | 地域住民や学生による学習支援 |
| 12 | 武豊町 | ゆめたろう塾 | 武豊中、富貴中 | 文化施設 | 個別指導 | 地域住民(学習支援員)による自主学習支援 |
| 13 | 刈谷市 | 中高生の居場所 | 刈谷南中、刈谷東中、富士松中、雁が音中、依佐美中、朝日中、刈谷高、刈谷北高、刈谷工業高、刈谷東高、愛教大附属高 | 社会教育施設 | 個別指導 | 自主学習と教員志望の大学生による個別指導 |
| 14 | みよし市 | みよし未来塾 | 三好中、南中、北中、三好丘中、三好高 | 社会教育施設 | 個別指導 | 大学生、地域住民による長期休業中の課題学習補助 |
| 15 | 田原市 | 東部中学校区地域未来塾 | 東部中 | 中学校 | グループ学習 | 元教員・地域住民による英語・数学等教室 |
| | | 田原中学校区地域未来塾 | 田原中 | 中学校 | グループ学習 | 元教員・地域住民による英語・数学等教室 |
| | | 福江中学校区地域未来塾 | 福江中 | 社会教育施設 | グループ学習 | 元教員・地域住民による英語・数学等教室 |

| (塾名) 瀬戸市立光陵中学校 放課後学習 | | (運営主体) 教育委員会学校教育課 |
|---|--|-------------------|
| (取組の効果) | (関係者の声) | |
| 今年度初めて実施する事業であり、夏季休業からスタートした。参加者は希望制で毎回20名程度参加し、学習習慣定着につながった。来年度以降も継続してほしいとの声が多く聞かれる。 | 「自分の勉強したいところを集中してできるのでうれしい」 「わからないところを親切に教えてくれるので力がついたと思う」 「将来の夢である教員になるためにとても有益な経験だと思う」 | |
| (取組の概要) | | |
| 1 背景・ねらい | 子どもたちに学習習慣を定着させるために開始した。 | |
| 2 対象校・対象者 | 光陵中学校 全学年 | |
| 3 実施教科 | 全教科 | |
| 4 実施場所 | 光陵中学校図書館 | |
| 5 実施の形態 | 子どもが教えてほしい教科を、元教員のボランティア、学生サポーターが個別指導する。 | |
| 6 実施日・回数 | 夏季休業中：18回 2学期：9回 3学期：13回 | |
| 実施時間帯 | 夏季休業中：14：00～16：00 2・3学期：14：30～16：30 | |
| 7 登録人数 | 20人 | |
| 8 参加人数(平均) | 20人 | |
| 9 コーディネーター等の取組の様子 | 学習支援員は支援状況の把握、出欠席・鍵の管理、学生サポーターの援助等を行っている。 | |

| (塾名) とよあけ どよう塾 | | (運営主体) 教育委員会学校教育課 |
|--|--|-------------------|
| (取組の効果) | (関係者の声) | |
| 試行期間を経て、28年度から年間を通して実施。生徒への認知度も上がり、昨年度に参加した生徒の約8割が「勉強になった」と感じている。また、教員志望の大学生ボランティアにとって、実践力を高める場となっている。 | 「わからないことをすぐに聞くことができ、不安だったところが減ってきました。」(参加生徒) 「家庭でも学習する時間が多くなりました。」(参加生徒の保護者) 「教員志望の私にとって、様々な生徒と接し、学習の支援をすることができたのは、励みになりました。」(大学生ボランティア) | |
| (取組の概要) | | |
| 1 背景・ねらい | 基礎的な学力の向上を図るため、勉強する意欲はあるが塾などへ通っていない生徒を対象に土曜日に補充学習を行う。 | |
| 2 対象校・対象者 | 豊明市公立中学校に通う生徒(塾などに通っていない生徒に限る) | |
| 3 実施教科 | 数学・英語 | |
| 4 実施場所 | 豊明市役所 | |
| 5 実施の形態 | 一斉授業の形式で数学・英語の授業を学年別に行う。複数の指導員や学生ボランティアを教室に配置し、わからないことはすぐに質問できるようにしている。 | |
| 6 実施日・回数 | 土曜日(月2回) 【1年生】13:00～15:00 【2・3年生】15:00～17:00 | |
| 実施時間帯 | ※冬季(11月～1月) 【1年生】13:00～14:30 【2・3年生】14:30～16:00 | |
| 7 登録人数 | 78名(1年生：45名、2年生：21名、3年生：12名) | |
| 8 参加人数(平均) | 46名(2学期8回分の平均) | |
| 9 コーディネーター等の取組の様子 | 指導員が学生ボランティアとの連絡調整を図り、学習支援の方法についてアドバイスをし、指導力の向上を図っている。また、欠席した生徒には学習進度表を配付し、次回までにその範囲の学習を進められるようにしている。 | |

| (塾名) 小牧市学習支援事業「駒来塾」 | | (運営主体) 小牧市 |
|---|--|------------|
| (取組の効果) | (関係者の声) | |
| 8月からモデル事業として開始し、検討委員会で検証を重ねて進めている。教員OBや大学生サポーターによる寄り添った指導は、参加生徒や保護者から好評を得ている。家庭での学習習慣がついていなかった生徒が「駒来塾」に参加することで、自分から学ぶ姿勢が見られるようになってきた。 | <p>「楽しく参加しており、塾当日は自分から準備するようになった。」</p> <p>「分からない所があれば自分から学ぼうとする姿勢が出てきており嬉しく感じています。」(保護者意見)</p> <p>「将来教員になった時に勉強に遅れた子供を見逃したくないので参加しました。」(大学生ボランティア)</p> | |
| (取組の概要) | | |
| 1 背景・ねらい | 中学生の主体的な学習習慣の定着及び学力の向上を図るため、平成29年8月より事業開始。 | |
| 2 対象校・対象者 | 市内2教室(東部・北里地区)にてモデル事業として開始。対象者は塾に通っていない中学生。 | |
| 3 実施教科 | 国語、社会、数学、理科、英語 | |
| 4 実施場所 | 東部市民センター視聴覚室、北里市民センター集会室 | |
| 5 実施の形態 | 生徒が教えてほしい教科の問題の回答方法や理解が十分でない内容について個別指導している(現在メイン教科として数学、英語を中心に学習)。 | |
| 6 実施日・回数 | 夏休み期間： 毎週木曜日(14:30~16:00) | |
| 実施時間帯 | それ以外の期間： 隔週木曜日(18:30~20:00) | |
| 7 登録人数 | 東部地区20名 北里地区8名 | |
| 8 参加人数(平均) | 東部地区15.6名 北里地区6.6名(8月~11月末までの平均) | |
| 9 コーディネーター等の取組の様子 | 学習支援員(教員OB)の中から地区の代表(塾長)を指定し、塾長が中心となって運営していただいている。塾開始30分前から準備、担当の打合せを行い、終了後30分程度その日の反省会を実施し、生徒の状況等の情報共有を行っている。 | |



| (塾名) 地域未来塾(犬山学び場「みらい」) | | (運営主体) 教育委員会学校教育課 |
|--|---|-------------------|
| (取組の効果) | (関係者の声) | |
| 中学校ごとに会場を設け実施。参加生徒や保護者からは概ね好評で、永続的な取組を望む声も聞かれている。年度途中の参加希望生徒もあり、本事業が軌道に乗り始めているため、実施方法の拡大を検討中である。 | <p>「子供がなかなか家庭での学習にやる気もてませんが、『みらい』に参加するようになって学習意欲が上がりました。貴重な場を設定してもらいありがとうございます。」(参加生徒の保護者)</p> <p>「分からないところも気軽に先生に聞けて、とてもかどって良かったです。」(参加生徒)</p> <p>「自分で学習内容をきちんと用意し、意欲的に取り組んでくれたので楽しくやりかたのある時間になりました。」(学習指導員)</p> | |
| (取組の概要) | | |
| 1 背景・ねらい | 学校での学習と連動した学習環境を提供することで、自ら学ぼうとする意欲を高めるとともに、よりよい学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。地域の方々に関わっていただくことで、地域住民が学ぶ機会ともなり、地域の教育力の向上を期待する。 | |
| 2 対象校・対象者 | 市内4中学校在籍生徒(1年生~3年生) | |
| 3 実施教科 | 生徒が希望する全教科 | |
| 4 実施場所 | 市内4カ所の公共施設 | |
| 5 実施の形態 | 生徒が教えてほしい教科の問題の解答方法や、理解が十分でない内容について個別指導をしている。 | |
| 6 実施日・回数 | 土曜日 8月~2月中旬(年間20回) | |
| 実施時間帯 | 9:00~11:00 | |
| 7 登録人数 | 27人 | |
| 8 参加人数(平均) | 21人(20回実施の平均) | |
| 9 学習指導員の取組の様子 | 実施場所管理、生徒の出欠席及び支援状況の把握、教育委員会との連絡及び調整 | |



| | | | |
|---|--|--|--|
| (塾名) 江南市こども未来塾 | | (運営主体) 教育委員会教育課 | |
| (取組の効果) 入塾している生徒について、継続指導により、基礎的計算力が確実に向上している。 数学に対する苦手意識も少しずつ解消され、興味・関心度も高くなってきている。 | | (関係者の声) 「わからないことを教えることで、生徒たちが嬉しそうに取り組む姿を見ることができ、とてもやりがいを感じる。少しでも力になれるよう頑張っていきたい。」(未来塾講師) 「計算ミスが減った。毎週やってほしい。」(入塾生徒) | |
| (取組の概要) | | | |
| 1 背景・ねらい | | 先生の指導により、計算プリント等を利用して、中学校1・2年生の生徒を対象に、基礎的な計算力の向上を図る。 | |
| 2 対象校・対象者 | | 市内全中学校 1・2年生 | |
| 3 実施教科 | | 数学 | |
| 4 実施場所 | | 江南市防災センター内 | |
| 5 実施の形態 | | 10名以内のグループに分かれ、講師・学習アドバイザーが1名ずつ付いて指導に当たっている。プリントや学校教材を用いた個別指導を中心に実施している。 | |
| 6 実施日・回数 | | 7月より月2回、土曜日に実施。 | |
| 実施時間帯 | | 14:00～16:00 | |
| 7 登録人数 | | 51名 | |
| 8 参加人数(平均) | | 32名(9回実施の平均) | |
| 9 コーディネーター等の取組の様子 | | 実施前後のミーティングにおいて、指導者間の生徒の指導方法やルールの共有化を行っていただいている。その他、問題や要望の事務局との調整、通信の作成、休んだ講師等のフォローなどを行っていただいている。 | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| (塾名) 大口町サポートルーム「さくら」 | | (運営主体) 教育委員会学校教育課 | |
| (取組の効果) 開始当初は生徒3名から始まったが、現在では28名登録しており、キャンセル待ちが出るほど。無料で個別指導してもらえこともあり、生徒同士・保護者同士の口コミにより、多くの生徒が通う場所となっている。 | | (関係者の声) 「わからないところをすぐ教えてもらえる。」(参加生徒) 「解き方がわかるようになって楽しくなった。」(参加生徒) 「家でも勉強するようになりました。」(参加生徒の保護者) 「教員を目指しているので、教員OBの方の指導を間近で見られてとても参考になりました。」(大学生ボランティア) | |
| (取組の概要) | | | |
| 1 背景・ねらい | | 苦境にあっても将来においてそれぞれの可能性を開花させ、自分の夢や希望を実現する為の学ぶスペースの提供、子どもの居場所づくりなどをねらいとしている。 | |
| 2 対象校・対象者 | | 大口中学校の生徒で一般の学習塾に通っていないこと。 | |
| 3 実施教科 | | 生徒が希望する全教科 | |
| 4 実施場所 | | 大口町中央公民館(C会議室または視聴覚室) | |
| 5 実施の形態 | | 生徒が教えてほしい教科の問題の解答方法や、理解が十分でない内容についての個別指導をしている。 | |
| 6 実施日・回数 | | 毎週水曜日 17:30～20:00 | |
| 実施時間帯 | | (ただし水曜日が祝日の場合やお盆・年末年始等は除く) | |
| 7 登録人数 | | 28名(平成29年12月20日現在) | |
| 8 参加人数(平均) | | 直近5回平均22名、直近10回平均21名(平成29年12月20日現在) | |
| 9 学習支援員等の取組の様子 | | 主となる学習支援員が参加生徒の学習状況や出席状況を把握し、他の学習支援員と情報を共有することで、生徒一人ひとりに合った学習支援を行っている。 | |


| | |
|---|--|
| (塾名) 大治町立大治中学校区 スタディー サポート クラブ (SSC) (運営主体) はるボラフレンズ | |
| (取組の効果) 参加生徒は、意欲的に学習しており、学習後の感想も概ね好評である。また、ボランティアと触れ合うことで、生徒のコミュニケーション能力が育ちつつある。 ボランティアは、生徒との触れ合いでやりがいや達成感を味わうことができている。 | (関係者の声) 「分からない問題をていねいに教えてもらえてよかった。」 「家と違い集中して学習できる。」(参加生徒) 「中学生と触れ合うことができ将来に向けてのよい経験になっている。」(学生ボランティア) 「問題が解けたときの生徒の顔を見たらうれしくなる。」 (地域ボランティア) |
| (取組の概要) 1 背景・ねらい 2 対象校・対象者 3 実施教科 4 実施場所 5 実施の形態 6 実施日・回数 実施時間帯 7 登録人数 8 参加人数(平均) 9 学習支援員等の取組の様子 | 基礎学力の不十分な生徒への学習支援を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 大治中学校 3年生 【基礎学力コース】国語・数学・英語 【自学・自習コース】国語・社会・数学・理科・英語 大治町立西公民館 【基礎学力コース】各教科の基礎問題プリントをもとに学習 【自学・自習コース】生徒各自が教材を用意し分からない問題を教えてもらう。 5～2月(7月除く)各月第2・4日曜、夏休み6回・冬休み5回 年合計27回実施 9:00～11:30 34名 16人 生徒募集案内・学生ボランティア募集案内の作成・配布・学習会場準備 ・学習プリント用意・出欠確認・各学期末にSSC通信発行 |

| | |
|--|--|
| (塾名) 常滑市地域未来塾 (運営主体) 教育委員会学校教育課 | |
| (取組の効果) 地域の学生や元教員などの協力により地域未来塾を開催している。生徒たちは静かな環境で集中できており、学力向上のためによりよい環境を提供することができた。 | (関係者の声) 「未来塾に行って、とても早く宿題も終わったし、静かで涼しい部屋で勉強ができて良かったです。また、機会があれば行きたいです。」 (参加生徒) 「とても集中して取り組めていました。休憩の時には生徒同士のコミュニケーションがありメリハリがしっかりとついていました。」 (学習支援員) |
| (取組の概要) 1 背景・ねらい 2 対象校・対象者 3 実施教科 4 実施場所 5 実施の形態 6 実施日・回数 実施時間帯 7 登録人数 8 参加人数(平均) 9 コーディネーター等の取組の様子 | 中学生を対象に、自主的な学習習慣と基礎的な学力を身に付ける支援を目的とした「地域未来塾」を開設した。 市内全4中学校に通う生徒全員が対象 自習形式であるため教科の指定はない 市内公民館等(学校区ごとに4カ所) 自習形式で実施している。生徒が教材を持ち込み、わからないところがあれば学習支援員に質問する。 【夏休み】8月中の11日間 【冬休み】12月中の3日間 【テスト期間】9月～2月までのテスト週間中に16日間 全て13:30～16:30 4カ所平均【夏休み】17.3人 【冬休み】6.5人 【テスト期間】11.1人 4カ所平均【夏休み】11.9人 【冬休み】5.2人 【テスト期間】5.4人 コーディネーターは職員が務め、学習支援員や参加者の募集、実施場所の確保などを行っている。開催にあたって各教室の運営は学習支援員が行い、会場設営から片付けまでを全て学習支援員が行っている。 |




(塾名) まなポート (大府市中学生学習支援事業) (運営主体) NPO法人アスクネット

| | |
|---|---|
| <p>(取組の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣付け ・居場所作り ・コミュニケーション力の向上 ・学年等を超えた共助 ・地域で支える仕組み作り ・貧困の連鎖からの脱却 <p>※初年度のため効果は、測られていない。</p> | <p>(関係者の声)</p> <p>「友達ができ嬉しい。」「人と話ができるようになった。」(生徒)</p> <p>「自信が付き、表情が明るくなった。口数が増えた。」(学習支援員)</p> <p>「会話をして心を開きながら勉強をわかりやすく教えるにはどうするべきか考えることが大切だとわかった。」(学生サポーター)</p> <p>「大学のカリキュラムでは出来ない貴重な体験になった。」(学生サポーター)</p> |
|---|---|

| | | |
|---|--|--|
| <p>(取組の概要)</p> <p>1 背景・ねらい</p> <p>2 対象校・対象者</p> <p>3 実施教科</p> <p>4 実施場所</p> <p>5 実施の形態</p> <p>6 実施日・回数 実施時間帯</p> <p>7 登録人数</p> <p>8 参加人数(平均)</p> <p>9 コーディネーター 等の取組の様子</p> | <p>学習の習慣付けを行うことにより、「生きる力の醸成」の一助とするとともに、地域で生徒の成長を支える仕組みを構築することを目的とする。</p> <p>市内在住の中学生</p> <p>まなクルー(生徒)が希望する全教科</p> <p>4公民館(各中学校区に1か所)</p> <p>NPO法人アスクネットに委託し、市内の大学生を活用している。まなクルーが学習したい宿題や教材を持参し、わからないところがある時は学生スタッフ等がサポートする。</p> <p>毎週土曜日 午後2時～5時 (学校行事により変更する場合あり)</p> <p>43人(12/19現在)</p> <p>18人(12/19現在)</p> <p>学習支援員を、各公民館に専属で配置し、生徒の出欠管理や学習サポートを行い、振り返りシート等を使用して生徒の様子や変化を把握している。</p> |  |
|---|--|--|

(塾名) ゆめたろう塾 (武豊町地域未来塾) (運営主体) 教育委員会生涯学習課

| | |
|---|---|
| <p>(取組の効果)</p> <p>5月から月2回実施。平均で18人程度の生徒が参加している。参加生徒、保護者からは好評で、弟や妹が中学に上がった時も参加させたい、継続してほしいとの声も出ている。</p> | <p>(関係者の声)</p> <p>「先生も分からない時は、調べて教えてくれた」(参加生徒)</p> <p>「回数を増やしてほしい、毎週でも」(保護者)</p> <p>「教育実習に伺った中学校の生徒がおり、早い時期になじむことができてよかった。」(大学生の学習支援員)</p> |
|---|---|

| | | |
|---|--|---|
| <p>(取組の概要)</p> <p>1 背景・ねらい</p> <p>2 対象校・対象者</p> <p>3 実施教科</p> <p>4 実施場所</p> <p>5 実施の形態</p> <p>6 実施日・回数 実施時間帯</p> <p>7 登録人数</p> <p>8 参加人数(平均)</p> <p>9 コーディネーター 等の取組の様子</p> | <p>学習習慣の確立と基礎学力の定着による町内中学生の学力向上、地域の大人と生徒が接することによる青少年健全育成 を目的としている。</p> <p>町内の中学(武豊中学校、富貴中学校) 1年生～3年生</p> <p>国語、数学、英語、理科、社会</p> <p>武豊町民会館(ゆめたろうプラザ) 情報考房 他</p> <p>自習形式を基本とし、学習支援員が個別に学習支援を行う。</p> <p>学習支援員11人でローテーション、各回4～6人参加</p> <p>平成29年5月～3月まで第2第4土曜日(3月は第2のみ)計21回</p> <p>9:30から11:30まで</p> <p>平成29年12月現在 登録生徒数57人</p> <p>平均18人程度出席</p> <p>コーディネーターは設けておらず、会場の予約、生徒の出席状況の確認、支援員のローテーション調整、会場の設営撤収等の業務は、生涯学習課職員で行っている。</p> |  |
|---|--|---|

(塾名) 中高生の居場所「なごみんはあと」なごみん塾 (運営主体) 子育て・子育てNPO スコップ

(取組の効果)

従来から実施していた中高生の居場所づくり事業において、新たに「なごみん塾」を開催した。「なごみん塾」の利用者が中高生の居場所に立ち寄るなど、居場所の活性化につながった。

(関係者の声)

中高生の居場所全体がにぎわって、利用する中高生同士の交流も見受けられます。(コーディネーター)

「今日の一問」を掲示など、利用する中高生が質問しやすい雰囲気づくりに心がけています。(大学生ボランティア)

(取組の概要)

1 背景・ねらい

中高生の居場所づくり事業の活性化を目指し、「なごみん塾」を開始した。学習支援による学習習慣の確立と、居場所におけるスタッフ及び大学生ボランティアとの交流の双方から、中高生の健全育成を図る。

2 対象校・対象者

市内全域(中学校6校、高校5校) / 刈谷市在住及び在学の中学生・高校生

3 実施教科

【国語】【数学】【理科】【社会】【英語】

4 実施場所

刈谷市総合文化センター3階 談話コーナー

5 実施の形態

持参した教科書・問題集・宿題などで自主学習をすることを基本とし、わからないところや勉強方法について個別指導する。



6 実施日・時間帯

毎週木曜日 18:00~20:00

7 登録人数

登録制を採らず、利用に際し受付する。

8 コーディネーター等の取組の様子

コーディネーターは、大学生ボランティアの配置、当日の利用受付を含めた運営管理を担当し、また、大学生ボランティアとともに、利用する中高生とのコミュニケーションのとり方や支援方法について考えている。今年度は事業周知も兼ねて、定期テスト期間に合わせて学習支援イベントも企画した。

(塾名) みよし未来塾

(運営主体) 教育委員会教育行政課

(取組の効果)

夏休みと冬休みに実施。冬休みから会場を2つに増やし、より多くの生徒が参加しやすいようにした。参加生徒からは、今後も継続して欲しいとの声が多く聞かれ、概ね好評であった。

(関係者の声)

「家にいるよりも集中して勉強できる。」(参加生徒)

「分からない問題をすぐに質問できるので勉強がはかどる。」(参加生徒)

(参加生徒)

「実施期間や時間をもっと長くして欲しい。」(参加生徒)

(取組の概要)

1 背景・ねらい

家庭学習の習慣が定着していなかったり、学習が遅れがちであったりする生徒に対して学習支援を行うことで、学習習慣を身につけるきっかけの場とする。学力低下の危惧がなくとも、学習意欲のある生徒には学習の場を提供する。また、生徒に勉強を教える学習支援員を募集し、指導・育成することで、地域の教育力の向上につなげる。

2 対象校・対象者

市内在住・在学の中学生及び高校生

3 実施教科

全教科

4 実施場所

【夏季】市民活動センター(中部地区)
【冬季】図書館学習交流プラザ等(中部地区)
カリヨンハウス(北部地区)



5 実施の形態

生徒が自主学習し、質問がある場合は学習支援員からアドバイスを受ける。

6 実施日・回数

【夏季】7/24~8/4(土・日を除く10日間) 15:30~18:00

実施時間帯

【冬季】12/26~12/28(3日間) 14:00~16:30

7 登録人数

【夏季】78人 【冬季】52人

8 参加人数(平均)

【夏季】38人 【冬季】35人

9 コーディネーター等の取組の様子

本市では、開催計画や生徒・支援員の募集等の主要業務を市職員が行っている。今後は、地域や学校との連携を進めるため、それらとの調整を行うコーディネーターの配置が必要である。